

あいち農産物生産流通レポート

平成28年1月号

情報サロン		
・爽やかな黄緑色のスプレーカーネーション「カーネ愛知8号」を開発 (農業総合試験場)	1
地域トピックス		
・「全国都市緑化あいちフェア」における尾張産花きPRの取り組み (尾張農林水産事務所)	2
東日本情報		
・キャベツの競合産地調査を実施 (東京事務所)	3
西日本情報		
・あいち食育いきいきミーティングを開催しました ～食育の講演・事例報告・意見交換会～ (食育推進課)	5
フラワーページ		
・葬儀花の需要動向について (株式会社フラワーオークションジャパン 切花部)	6
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	8
・名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し	9
花き		
・切花・鉢花の1月の見通し(県内市場)	21
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2015年10月)	25
関連指数	26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ (03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課 (052)-954-6421

爽やかな黄緑色のスプレーカーネーション「カーネ愛知8号」を開発

農業総合試験場

1 はじめに

カーネーションは、キク、バラと並ぶ三大打り花の一つで、愛知県は出荷本数 4,910 万本で全国 2 位となっています（2014 年産、農林水産統計）。

愛知県でのカーネーション栽培は 6 月下旬に定植し、秋から翌春に収穫する作型が主体となっています。一般的に収穫初期は、草丈が短く十分な切り花長が確保できないため秀品が得られにくい傾向にあります。そこで、花色や花形が優れることに加えて、収穫初期から十分な切り花長が確保できる品種として、新品種「カーネ愛知 8 号」を開発しましたので紹介します。

2 開発の経緯

2008 年度に交配を行い、2009 年に正常に生育した実生株 4,000 系統を定植しました。その後、花色、花形、収穫初期の切り花長、収量性等に優れた個体の選抜を繰り返しました。2011 年からは愛知県花き温室園芸組合連合会カーネーション部会の協力を得て、現地での試作や市場性の評価を行い、2013 年に育成を完了しました。この系統を新品種として実用性が高いと判断し、「カーネ愛知 8 号」として 2014 年 11 月に品種登録出願を行い、2015 年 5 月に出願公表(第 29743 号)されました。

3 「カーネ愛知 8 号」の特徴

- ・爽やかな黄緑色のスプレーカーネーションです。
- ・茎の伸長性が良く、収穫初期から十分な切り花長が確保できます。
- ・花径がやや大きく、花蕾数もやや多くなります。
- ・本県の一般的な栽培では開花開始時期は 12 月上旬で、翌年 6 月まで出荷が可能です。
- ・1 株から収穫できる本数は年間約 5 本と平均的で、秀品率は 80% とやや高いです。



「カーネ愛知 8 号」

4 流通について

「カーネ愛知 8 号」は、今年度から『ドリーミーフレッシュ』の名称で本格的に出荷が始まりました。スプレーカーネーションで最も需要の多い花色はピンク色ですが、花束やアレンジメントなどの用途で黄緑色の品種は一定の需要があり、今後の利用が期待されます。

「全国都市緑化あいちフェア」における尾張産花きPRの取り組み

尾張農林水産事務所

「全国都市緑化あいちフェア」が平成27年9月12日(土)から11月8日(日)まで、愛・地球博記念公園(長久手市)にて開催され、会期中の来場者(メイン会場)が、73万7千人(主催者調べ)に達し、大成功の内に閉幕しました。この機会を活用して、管内の花き関係者が尾張産花きのPRを繰り広げましたので、その取り組みについて紹介します。

花き種苗業者出展「魅せたい花壇」(全期間)

一宮市などの花き種苗業者から4社が出展されました。

中でも、(有)角田ナーセリーは多種多様な花苗を組み合わせたメリハリのある花壇、(有)H&Lプランテーションはセダムを中心としたロックガーデン風花壇など、各社の得意分野を生かして魅力あるデザインが提案されていました。



角田ナーセリー花壇



H&Lプランテーション花壇

あいち花の交流ひろば「あいちフラワーコンテスト」(10月16日(金)~18日(日))
稲沢市及び長久手市の生産者から計9点の出品があり、ばら・洋花の部で金賞2点、スプレーギクの部で銅賞1点の入賞を果たしました。



コンテスト受賞花
(知事賞)

体験催事コーナー(10月31日(土)~11月8日(日))
尾張花き連合会が出展し、サボテンや花苗、地域の野菜・果物の加工品の販売と、購入した花苗を使った「寄せ植え体験教室」が実施されました。

参加した生産者は、「天気の良い日にはたくさんの来客があり、みなさんかなり買っていかれました。」と手応えを感じていました。



花苗(花壇苗、ラン、多肉類等)



寄せ植え体験教室

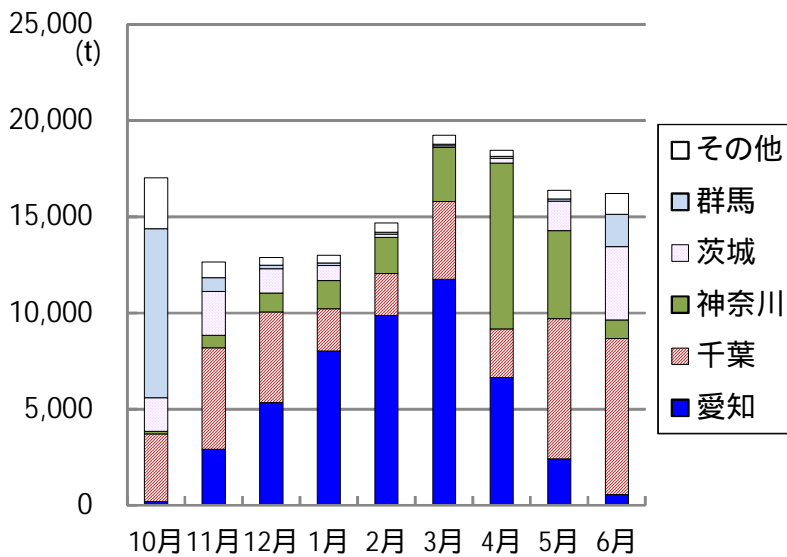
他関係催事への協力

他にも、会場各所の花き装飾を始め、小中学校が出展したプランター作りや花壇デザインコンクールの支援、「思い出のマーニー×種田陽平展」での劇中菜園の実物野菜苗による再現など、様々な場面において、管内の花き生産者たちがイベントに協力し、関係者と協働・連携しながら花きのPRに努めました。

キャベツの競合産地調査を実施

京浜市場愛知県野菜連絡会キャベツ研究会（野菜連絡会会員卸売会社32社のうち12社で構成）は、キャベツの競合産地の状況把握のため、品質検討会と銚子地区（千葉県）、三浦・横須賀地区（神奈川県）の現地調査を行いましたので、その概要をお知らせします。

キャベツの入荷状況



キャベツの主産地別入荷実績 (H26.10 ~ H27.6)

東京都中央卸売市場における平成26年10月から平成27年6月までの入荷実績は左図の通りで、本県産は11月から入荷が増加しており、競合産地は千葉、茨城、神奈川となっています。

本県産キャベツの平成27年の入荷状況は、8月下旬からの降雨で定植作業が遅れたことなどが原因で、前年同月比で10月は26.8%、11月は83.8%と少なく推移しましたが、10月の好天で生育は進んでおり、12月以降は潤沢な入荷が見込まれます。

品質調査会を実施

11月30日（月）に、東京都中央卸売市場淀橋市場にある東京新宿ベジフル株式会社（新宿区北新宿4）において、品質検討会が開催されました。これは、本県産の入荷量が増加するにあわせて本県産と競合産地の状況を確認するために行っています。

品質審査は、冬系：6産地¹10銘柄、春系：4産地²5銘柄を用意し、重量や玉揃い、切り口など9項目の審査が行われました。本県産の冬系については、全体的にバランスが良く評価は高かったですが、一部に芯の高いものや外葉の多いものがあり、適期収穫と出



キャベツ品質審査の様子

荷規格の再確認が指摘されました。本県産の春系については、全体的に品質は良好でしたが、一部に黒腐病や外葉の淡いものが見られました。

- 1 愛知（JAあいち知多、ひまわり、愛知みなみ、豊橋）、茨城、中国。
- 2 愛知（JA愛知みなみ、豊橋）、千葉、神奈川。

競合産地現地調査を実施

12月8日（火）に、銚子地区（千葉県）と三浦・横須賀地区（神奈川県）の現地調査を行いました。これは生育状況を過去と比較するために毎年同じ時期に開催し、今後の本県産の販売対策の参考にするものです。

銚子地区のキャベツは、生育が3週間くらい進んでおり、今収穫しているのは1月出荷予定のものだったとのことで、右写真のように外葉が大きく、素直に育っている印象が持たれました。



銚子地区（千葉県）のキャベツ

三浦・横須賀地区は、銚子地区と同様に外葉がしっかりとしており、ほ場一面緑に覆われ、例年よりも大玉傾向で、生育は前進しているとのことでした。

これらのことから、千葉と神奈川ともに、生育が前進しており、大玉傾向で今後潤沢な出荷が見込まれると思われます。

あいち食育いきいきミーティングを開催しました

～食育の講演・事例報告・意見交換会～



平成 17 年に「食育基本法」が施行されて今年で 10 年。
食をめぐる環境は年々変化していますが、“食育”は、長く続けていくことが大切な取組です。

愛知県では、「あいち食育いきいきプラン 2015」に沿った先進的な取組を御紹介する『あいち食育いきいきミーティング』を今年も開催しました。

今年は、みんなが疑問に思っているがこれまでわからないことが多かった「食べ物の好き嫌い」について科学的に研究されている 大阪大学 人間科学研究科 八十島安伸准教授に御講演いただきました。

また、農林水産省が実施する「食と農林漁業の優良活動表彰」(平成 26 年度)において、消費・安全局長賞を受賞された 合資会社 野田味噌商店 野田清衛氏に味噌造りや五平餅作りを通じた食文化の伝承について長年の御経験を基に事例報告していただきました。

さらに、内閣府が実施する「食育推進ボランティア表彰」(平成 27 年度)において、内閣府特命担当大臣表彰を受賞された 愛知教育大学名誉教授 西村敬子氏により、食事バランスガイドを子供たちに分かりやすく教えるための、5色に色付けしたキャラクター「食まるファイブ」誕生の秘密を御報告いただきました。

報告の中では、食育ボランティア「食まる応援団刈谷」の方々が「食まるファイブ」のカラフルな衣装を身にまとい、「食まるファイブ」を活用した食育について楽しく実演する場面もありました。

同じく内閣府特命担当大臣表彰を受賞された名古屋学芸大学 Canteen (カンティーン) を代表して 笠原千鶴さんに将来管理栄養士として働くための実践訓練として、学内だけでなく、地域で行っている活動について事例報告していただきました。

最後に、八十島准教授と事例報告をしていただいた 3 名の方々が壇上に登り、会場の皆さんと意見交換を行いました。

参加者から、八十島先生の講演や事例報告に対する質問、ふだん食育活動で感じていること等多くの意見が出され、皆さんで情報の共有や交流ができました。

今年は、「あいち食育いきいきプラン 2015」の計画期間の最終年度であり、あいちの食育にとって節目の年です。

講演や事例報告で得た知識を、地元での身近な食育活動に少しでも活かしていただき、食育のバトンがつながっていけば幸いです。

葬儀花の需要動向について

1 はじめに

日本の葬儀業は高齢化を背景に葬式の件数は増加していますが、葬儀の小規模化で家族葬、直葬が増えて1件当たり葬儀にかかる費用の平均単価が下がっており市場規模は横ばい傾向で推移しています。

2 葬儀花の需要トレンド

葬儀の変化

自宅葬から葬儀会館での葬儀へ。数年前までは葬儀のホールを貸し切った葬儀が一般的でしたが、現在は、ホールを区切って小規模な葬儀が増えています。また、医療の発展で死亡年齢が高くなり、中には定年を迎えて10年以上たち社会的につながりがうすれた時期での小規模な葬儀が増えています。

○生花祭壇

祭壇の種類は白木祭壇と花祭壇があります。近年、生花で祭壇を作る花祭壇の広がりをみせており、生花祭壇は花の種類も故人が好きだった花や、季節の花が選べたり、有名人の葬儀での生花祭壇が増えたりしたことで、メディアを通して色々な花の生花祭壇を目にするようになりました。

花の使用の多様化

葬儀の花といえば日持ちがする輪菊が主流でした。しかし、ここ10年の間でバラ、トルコギキョウ、ユリ、カーネーション、冬場は、ストック、金魚草など洋花が多く使用されるようになりました。色合いに関しても白色が中心からピンク、ブルーなど様々な色が使用されるようになりました。

洋花化が進んだ一つの理由として花が安定供給されるようになったことが一つあげられます。カーネーションやバラは商品も安定に入荷するようになり年間通して高品質な商品が手に入るようになりました。国産だけでなく、輸入も価格面でも30年前に比べると購入しやすい価格となり使用しやすくなったことで花の使用の幅が広がっています。

3 品目別の産地動向

○コロンビアのカーネーション

輸入品カーネーションの原産地別金額の7割のシェアを有しています(1位コロンビア、2位中国、3位エクアドル、4位ベトナム)。

主な生産地域であるボゴタは、北緯4～5度の赤道直下、標高2600m前後で日射量が豊富であり、昼と夜の温度差もあることからカーネーションの栽培に適した気候条件となっています。遠方からの輸入となり、鮮度の保持のため、航空便が中心です。

輸入品の状況をみると、為替の影響、生産地でのコストの上昇で数年前に比べると入荷がしづらい状況ではあるものの、生産量が豊富で品質が安定している輸入カーネーションは、需要の状況により今後、伸びる可能性もあります。

○菊

現在も菊類は、市場流通している切花シェアの40%を確保しています。日本の国花である花であり、品格のある日本人の心を映し出すような花です。また、色々な品目の中で1番数量が確保しやすく、安定品質で、日持ちも良いため、お客様に選ばれる花でもあります。輪菊白の国内産トップ産地の取り組みは以下のとおりです。

・JA愛知みなみ(愛知県)

名実ともに日本の柱の産地がJA愛知みなみです。

平成27年11月27日、28日に、重点市場11社と各市場が葬儀社1件と同行して開催された「JA愛知みなみ顧客販売会議」では、分科会において、年末の状況、今年度、来年度の取り組み、葬儀の現状、そして今後の未来について話し合い、農協、生産者、買参人、市場と活発な意見交換が行われました。日本の輪菊のトップ産地として顧客目線を忘れない勝ち組の産地となるための努力を日々続けています。

・JA島原雲仙(長崎県)

需要期に数量供給できるように計画的な出荷(計画生産出荷)をしたり、市場が必要な時期に必要な数量を供給できるよう生産体制を強化したりしています。また、ディスバット(一輪仕立ての洋菊)や新たな魅力を発掘するとともに、柱はしっかりして新規を伸ばしています。

・JA小山(栃木県)

年間通して安定出荷(安定品質、安定数量)を目指しています。現場主義の徹底や東京に近いメリットを活かして市場にて積極的に情報収集をすることで顧客の最新のニーズをつかみ、生産に活かしています。

4 さいごに

葬儀でスタイルの変化に伴い使用される花も様々な花が使用されるようになりました。しかしながら現在も輪菊白は根強い人気があります。国内の生産体制の維持をお願いしたいです。また、葬儀で花を使用してくれるような既存需要と新規需要を増やし様々な方面で花を使用してくれるように、業界全体の協力が益々必要です。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋中央卸売市場（品目：こまつな）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円 / kg)		前年の主な他産地 (上位 3 産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
27年実績	2,570	641 (25%)	405	380	愛知 (25%) 岐阜 (25%) 茨城 (24%)
28年見通し	2,300	500	400	350	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知県内の主な産地は尾張地区となる。JA海部東（大治町、あま市（旧甚目寺町））、JA西春日井（旧清洲町）、JAあいち西一部から。各地域高齢化のため減少気味。また、11月、12月の高温多雨により前進出荷となったため、1月分が12月に出荷された模様。そのため1月下旬には出荷の谷間となる可能性がある。</p> <p>他県産では200gFGフィルム入りだが、愛知県産では200g束のため価格がやや安くなっている。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並の見込み。</p>			<p>尾張地区は露地栽培が主力であるため、今期のような異常気象においては、生育が大きく左右される。本来であれば施設栽培により補うところだが、生産者の高齢化や後継者がいないことから非常に難しいのが現状となっている。</p> <p>平成27年11月、12月は実績が出ていないため、平成26年11月、12月実績を参考として計算した数値を平成27年実績として標記しております。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：セルリー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円 / kg)		前年の主な産地 (上位 3 産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
27年実績	804	126 (16%)	284	265	静岡 (44%) 福岡 (22%) 愛知 (16%)
28年見通し	830	-	270	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>静岡が入荷の4割以上を占め、福岡、愛知がそれに続く。静岡はハウスの作付面積は前年並で生育良好。愛知県産は2月にピークを迎える。愛知県産の作付面積はやや減だが、現在ハウス物が出荷されており、生育良好なため前年並の出荷量が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>適期収穫や温度管理による品質保持が徹底して行われており、愛知産の形状や品質に問題はない。日量格差の少ない安定した出荷と事前の出荷予測情報の発信が望まれる。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し

名古屋市中央卸売市場

グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

12月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	23年	29,155	221	235	218	204	愛知 28%
	24年	30,335	232	329	221	215	北海道 24%
	25年	30,996	226	277	221	220	茨城 7%
	26年	30,561	229	279	220	220	鹿児島 5%
	27年	30,626	238	291	226	214	熊本 5%
	5カ年平均	30,335	229	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	30,500	227	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、北海道が中心となる。暖冬の影響により前進出荷傾向で、今後は気温により数量が左右される模様。また、生育は順調である。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。							
だいこん	23年	1,855	62	53	57	70	静岡 27%
	24年	1,998	83	95	79	84	千葉 24%
	25年	1,716	99	112	99	93	徳島 20%
	26年	1,833	79	85	75	80	愛知 16%
	27年	1,653	81	89	75	88	神奈川 7%
	5カ年平均	1,811	81	86	77	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,700	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は静岡、徳島、鹿児島、愛知の残量が中心となる。生育は順調であり、安定した出荷となる。1月10日、11日の連休明けに量が増加する見込み。また、年末にも荷物が出てくると思われる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並の見込み。							
にんじん	23年	2,066	114	114	109	120	愛知 91%
	24年	1,932	117	129	122	112	鹿児島 5%
	25年	2,094	117	127	121	115	熊本 2%
	26年	2,059	128	151	131	119	長崎 1%
	27年	2,103	77	103	77	67	千葉 1%
	5カ年平均	2,051	110	125	112	106	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,100	100	110	100	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知が中心となる。他、鹿児島から。暖冬により生育は順調。Lサイズ中心だったが、今後は2Lサイズ中心になる。また千葉、茨城、鹿児島、熊本と全国的にも出荷量は多い。入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

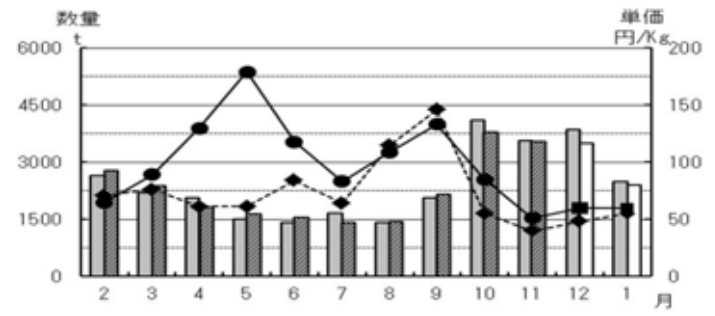
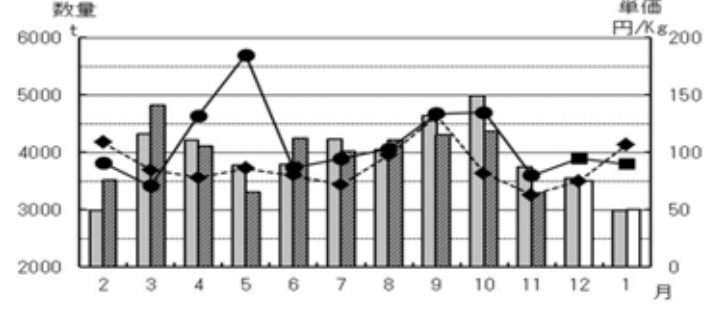
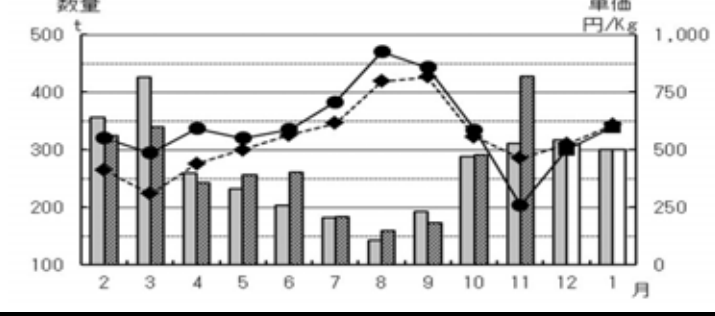
12月25日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	23年	116,467	228	238	220	231	千葉 18% 茨城 15% 北海道 12% 愛知 9%
	24年	116,831	248	287	228	243	
	25年	118,040	256	296	248	236	
	26年	122,239	242	273	231	232	
	27年	121,775	257	300	238	242	
	5ヵ年平均	119,070	246	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	122,000	250	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、茨城など関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。暖冬の影響でにんじん、ほうれんそう、トマト、ピーマンなど生育前進傾向の品目は、出荷減の見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							
だいこん	23年	12,791	59	54	53	67	神奈川 48% 千葉 42% 徳島 4% 鹿児島 2%
	24年	12,274	90	88	85	95	
	25年	12,809	105	116	102	100	
	26年	13,506	78	90	72	73	
	27年	13,239	85	87	73	91	
	5ヵ年平均	12,924	83	87	78	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	13,200	77	75	75	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>神奈川、千葉からの入荷が中心となる。神奈川、千葉は適度な降雨と気温高の影響で生育は前進傾向。神奈川は肥大良好。千葉は一部病害が発生、多かった前年を下回る出荷の見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は基調安のため前年をかなり下回る見込み。</p>							
にんじん	23年	6,617	138	142	138	139	千葉 86% 埼玉 6% 茨城 4%
	24年	6,744	106	112	105	104	
	25年	6,307	137	137	136	139	
	26年	6,557	143	159	143	133	
	27年	7,144	80	90	77	75	
	5ヵ年平均	6,674	120	127	119	117	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	7,000	87	90	85	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉を中心に関東産地からの入荷となる。千葉は11月の気温高の影響で生育が前進傾向で生育良好。埼玉は先月までは天候不順の影響で出荷が少なかったが、作型が切り替わり前年並出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	23年	2,718	61	63	59	61	茨城 52% 愛知 29% 兵庫 12% 宮崎 4% 岐阜 2%
	24年	2,660	70	73	65	77	
	25年	2,691	75	88	75	70	
	26年	2,350	70	82	68	67	
	27年	2,496	55	59	50	60	
	5ヵ年平均	2,583	66	73	63	67	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	2,400	60	55	60	65		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地は愛知が中心となる。他、茨城から。愛知の作付面積が減っている。そのため足りない分は茨城から入荷。暖冬のため、生育、入荷は、各産地とも順調となる模様。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					
		 <p>ほうきの数量（トン）と単価（円/kg）の月別推移。数量は5月がピークで約4800トン、単価は5月が約150円/kg。</p>					
キャベツ	23年	2,518	101	82	104	110	愛知 85% 茨城 9% 鹿児島 2% 三重 1% 熊本 1%
	24年	2,981	128	145	131	117	
	25年	3,336	109	108	104	114	
	26年	2,910	136	152	132	131	
	27年	2,990	107	113	109	103	
	5ヵ年平均	2,947	116	121	116	115	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	3,000	90	90	90	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地は愛知が中心となる。他、茨城や九州地方から。生育は順調。また、半数以上が春物になる模様。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。					
		 <p>キャベツの数量（トン）と単価（円/kg）の月別推移。数量は5月がピークで約5500トン、単価は5月が約150円/kg。</p>					
ほうれんそう	23年	310	485	380	525	505	愛知 72% 茨城 10% 群馬 8% 徳島 3% 静岡 2%
	24年	333	553	714	542	515	
	25年	326	558	573	573	558	
	26年	314	571	603	570	599	
	27年	300	606	727	597	589	
	5ヵ年平均	316	554	600	561	553	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	300	600	650	600	550		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地は愛知が中心となる。他、関東、四国地方から。前進出荷となっているため、1月も上旬、中旬は出荷が少ないと予想される。入荷量、価格ともに、前年並となる見込み。					
		 <p>ほうれんそうの数量（トン）と単価（円/kg）の月別推移。数量は11月がピークで約450トン、単価は11月が約750円/kg。</p>					

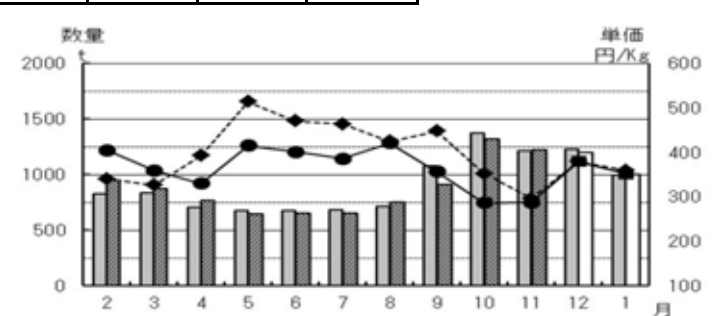
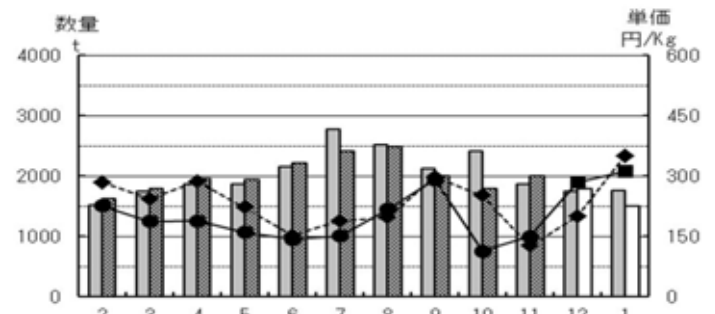
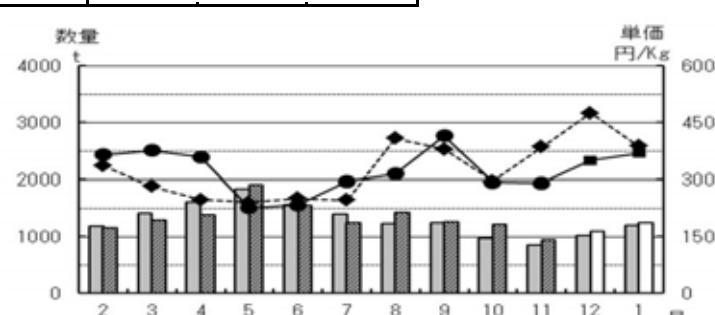
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	23年	12,397	48	50	47	49	茨城 87%
	24年	13,250	56	48	52	64	群馬 7%
	25年	13,772	72	77	76	66	兵庫 3%
	26年	14,528	62	69	63	56	埼玉 2%
	27年	12,797	40	42	35	43	
	5ヵ年平均	13,349	56	58	55	56	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	13,700	42	40	40	46	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心で、群馬、兵庫、埼玉からの入荷が増えてくる。茨城は11月までの好天の影響で生育が前進し大玉傾向。群馬も同様に生育良好で大玉傾向。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は安かった前年をやや上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね4,000tから16,000tの間で変動し、単価は20円/kgから180円/kgの間で変動しています。</p>					
キャベツ	23年	12,623	104	85	106	113	愛知 62%
	24年	13,391	129	136	130	123	千葉 17%
	25年	13,161	120	128	114	120	神奈川 11%
	26年	12,674	138	149	134	135	茨城 6%
	27年	13,026	121	124	117	112	
	5ヵ年平均	12,975	122	125	120	121	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	13,500	90	80	90	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、千葉、神奈川からの入荷が中心となる。愛知県産は気温高で生育前進傾向。千葉、神奈川も同様に、気温高から病害の発生が懸念される。主要産地の生育は概ね良好。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね5,000tから20,000tの間で変動し、単価は30円/kgから180円/kgの間で変動しています。</p>					
ほうれんそう	23年	1,514	485	451	480	510	群馬 29%
	24年	1,302	580	710	493	589	茨城 24%
	25年	1,522	574	620	577	546	埼玉 19%
	26年	1,518	535	581	533	508	千葉 17%
	27年	1,610	597	762	555	533	
	5ヵ年平均	1,493	554	624	529	536	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,570	600	500	600	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。主要産地は生育良好だが11月の気温高から生育が前進し出荷が前倒し傾向。露地の残量が少ない見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並の見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね600tから2,400tの間で変動し、単価は200円/kgから1,000円/kgの間で変動しています。</p>					

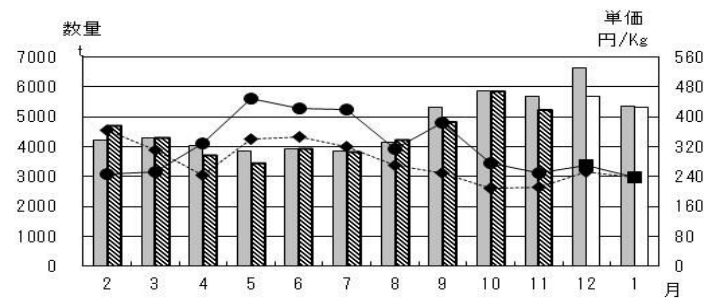
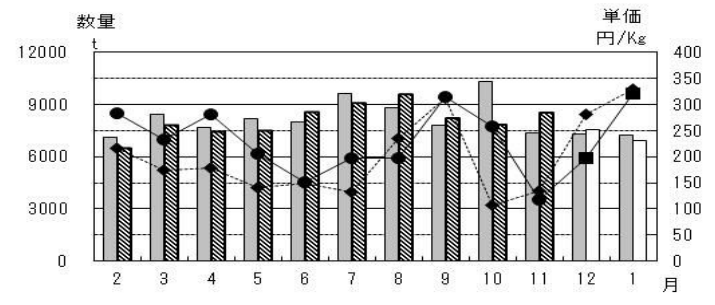
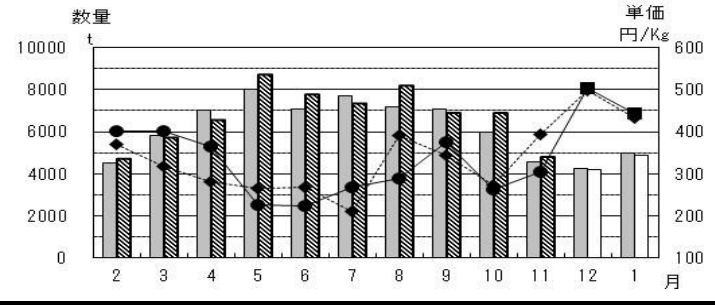
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	1,012	387	439	370	377	静岡 27%
	24年	1,044	358	424	334	356	愛知 17%
	25年	986	361	456	348	324	大分 15%
	26年	995	362	434	355	333	群馬 10%
	27年	998	352	448	332	318	鳥取 9%
	5ヵ年平均	1,007	364	440	348	342	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	1,000	360	410	350	320		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は、白ねぎが鳥取、静岡、大分、長ねぎが愛知が中心となる。 鳥取は面積が微増。また、静岡、大分も含め生育が順調のため、1月に入ってから増加傾向の見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>							
レタ	23年	1,163	243	184	233	298	兵庫 44%
	24年	1,395	323	390	290	309	愛知 20%
	25年	1,309	437	454	409	432	熊本 13%
	26年	1,586	288	324	266	283	長崎 9%
	27年	1,770	312	385	281	276	静岡 9%
	5ヵ年平均	1,444	320	353	295	316	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	1,500	350	350	350	350		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は淡路、静岡が中心となる。 暖冬のため前進出荷。また、秀品率が低く、15%から20%くらいである。しかし1月からは秀品率も回復か。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
きゅう	23年	1,226	334	338	321	345	愛知 52%
	24年	1,212	423	357	396	552	宮崎 19%
	25年	1,190	448	515	482	384	高知 15%
	26年	1,364	337	345	334	355	鹿児島 14%
	27年	1,208	388	416	364	403	
	5ヵ年平均	1,240	384	392	378	406	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	1,250	370	360	350	400		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は愛知が中心となる。 1月上旬は荷物が多いが、中旬、下旬は減っていく見込み。 平年より少なくなる可能性もあるため不安定である。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	5,097	257	305	247	241	千葉 33%
	24年	5,111	232	277	205	235	埼玉 24%
	25年	4,984	283	330	288	247	群馬 15%
	26年	5,475	250	314	240	213	茨城 15%
	27年	5,341	237	285	209	223	
	5ヵ年平均	5,202	251	302	237	231	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	5,300	237	270	220	220	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		千葉、埼玉など関東産地からの入荷が中心となる。千葉は生育は概ね良好。埼玉、群馬は9月の天候不順の影響で生育遅延がみられたが年明けからは順調出荷の見込み。茨城は気温高で肥大良好。 入荷量、価格ともに、前年並の見込み。					
しそ	23年	6,327	234	186	225	284	静岡 29%
	24年	7,108	314	365	287	301	兵庫 14%
	25年	5,668	434	478	411	417	香川 12%
	26年	6,757	294	329	270	284	長崎 12%
	27年	7,212	328	413	285	290	愛知 5%
	5ヵ年平均	6,614	318	353	292	312	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	6,900	320	290	320	350	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		静岡、兵庫、香川、長崎からの入荷が中心となる。主要産地は11月の気温高の影響で生育前進傾向。大玉で品質は低下している。前進出荷のため出荷量は前年より少なくなる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。					
きゅうり	23年	5,181	349	353	346	349	宮崎 42%
	24年	4,912	450	382	420	559	高知 20%
	25年	4,834	481	554	428	397	千葉 19%
	26年	5,090	370	365	380	367	茨城 6%
	27年	4,961	432	457	412	426	
	5ヵ年平均	4,996	415	421	396	419	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,850	443	430	450	450	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		宮崎、高知、千葉からの入荷が中心となる。宮崎は天候不順や成り疲れて出荷の少ない時期があったが、年明けには回復する見込み。高知も生育回復傾向にある。千葉は生育は概ね良好。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	23年	450	358	322	376	364	熊本 56%
	24年	398	434	411	422	474	愛知 39%
	25年	377	420	419	414	434	高知 4%
	26年	449	351	368	354	342	福岡 1%
	27年	419	411	417	409	416	
	5ヵ年平均	418	393	385	393	403	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	420	400	400	400	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は、干雨なすが愛知、長なすが熊本が中心となる。 冬場のため量は多くない模様。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。					
マ ト	23年	891	308	340	324	272	熊本 47%
	24年	833	382	400	368	390	愛知 30%
	25年	990	340	365	340	327	三重 13%
	26年	927	322	325	314	331	岐阜 7%
	27年	985	347	330	339	371	高知 1%
	5ヵ年平均	925	339	351	337	338	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	950	320	300	300	350	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は熊本、愛知が中心となる。他、三重、岐阜から。 11月下旬から12月の好天により前進傾向。 12月に出荷のピークとなる。着果が多いことにより負担がかかり樹勢が弱い。1月中旬、下旬で減少か。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					
三 二 ト マ ト	23年	313	536	480	537	582	熊本 58%
	24年	308	687	593	677	797	愛知 29%
	25年	382	563	538	545	582	和歌山 9%
	26年	379	618	584	607	640	宮崎 3%
	27年	364	715	654	710	767	三重 1%
	5ヵ年平均	349	624	571	615	671	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	330	650	600	650	700	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は熊本、愛知が中心となる。 暖秋、暖冬により前進出荷となる。今後の気温により量が左右される見込み。成り疲れ傾向で1月は少なめの見込み。 入荷量、価格ともに、前年をかなり下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	23年	2,080	374	354	381	374	高知 62%
	24年	1,874	488	523	446	501	福岡 18%
	25年	1,822	434	391	428	461	熊本 8%
	26年	2,356	389	394	387	373	佐賀 5%
	27年	2,041	463	486	431	469	
	5ヵ年平均	2,035	427	428	413	432	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,000	467	480	450	470	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>高知、福岡など西南暖地からの入荷が中心となる。高知、福岡は12月の曇雨天の影響で花数が少なくなった。中旬以降回復の見込み。佐賀は生育は概ね良好だが、一部病害が散見される。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並の見込み。</p>					
ト マ ト	23年	4,970	354	381	372	354	熊本 44%
	24年	4,628	437	462	420	428	愛知 15%
	25年	5,222	370	384	367	360	栃木 14%
	26年	5,223	356	365	348	354	千葉 5%
	27年	5,272	384	366	375	407	
	5ヵ年平均	5,063	379	390	375	380	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	5,100	400	370	400	430	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>熊本、愛知、栃木からの入荷が中心となる。各産地11月の気温高の影響で前進出荷傾向。熊本、愛知は成り疲れと気温低下で出荷は落ち着いてきた。栃木は冬春物が早めに出荷される見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	23年	1,279	492	446	481	545	熊本 42%
	24年	1,183	687	602	656	814	愛知 20%
	25年	1,415	559	553	538	585	宮崎 15%
	26年	1,651	563	560	546	583	千葉 8%
	27年	1,459	695	632	708	752	
	5ヵ年平均	1,397	598	560	585	651	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,500	650	600	650	700	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>熊本、愛知、宮崎、千葉からの入荷が中心となる。各産地11月の気温高の影響で前進出荷傾向。熊本は小玉傾向で順調出荷の見込み。愛知は生育は概ね良好だが一部成り疲れで着果が少ないところがある。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	441	490	321	493	619	鹿児島 45% 宮崎 45% 高知 10%
	24年	396	602	527	576	761	
	25年	339	774	724	759	794	
	26年	401	604	541	599	674	
	27年	468	658	684	639	685	
マン	5カ年平均	409	620	554	607	701	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	410	650	600	650	700	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は鹿児島、宮崎、高知が中心となる。前進型により11月下旬から12月上旬は入荷量は減少。年内は多くない模様。1月上旬は多いが、品薄傾向のため例年よりは少ない。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並の見込み。					
ばれいしょ	23年	2,686	137	141	139	135	北海道 55% 長崎 27% 鹿児島 18%
	24年	2,967	108	105	110	108	
	25年	2,788	96	94	98	95	
	26年	2,804	105	108	105	106	
	27年	3,029	102	99	101	105	
いしょ	5カ年平均	2,855	109	109	110	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,900	105	100	105	110	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道は男爵とメークイン、長崎は秋の残り物と抑制タイプ、鹿児島は出水の抑制タイプが出てくる。九州地方は干ばつの影響で小さめのLサイズ、Mサイズが中心となる。北海道は潤沢な入荷となる見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。					
たまねぎ	23年	4,350	119	107	132	114	北海道 98% 静岡 2%
	24年	4,772	87	92	88	90	
	25年	5,477	78	79	82	84	
	26年	5,008	114	102	139	124	
	27年	4,792	85	89	95	81	
ねぎ	5カ年平均	4,880	96	93	106	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	5,200	67	67	67	67	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地はほとんど北海道となる。他、静岡から少量。近年に見ないほどの在庫量がある。輸入品については、例年より価格が高いため入荷量は少ない。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	1,306	527	345	549	638	宮崎 52%
	24年	1,218	635	549	607	751	高知 19%
	25年	1,149	773	744	783	777	鹿児島 18%
	26年	1,340	633	531	668	685	茨城 10%
	27年	1,405	669	703	626	684	
マ	5カ年平均	1,284	645	572	644	704	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,370	690	700	670	700	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>宮崎、高知、鹿児島、茨城からの入荷が中心となる。宮崎、高知は着花が少なかったことから出荷減の見込み。鹿児島、茨城は生育良好で着果もよかったことから、成り疲れが懸念される。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	23年	7,814	145	146	145	144	北海道 61%
	24年	8,559	112	112	110	114	長崎 29%
	25年	8,137	101	104	102	99	鹿児島 10%
	26年	8,381	110	113	110	108	
	27年	8,741	103	103	103	104	
い	5カ年平均	8,326	114	115	114	113	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	9,000	97	100	96	96	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道、長崎、鹿児島からの入荷がほとんどを占める。北海道は貯蔵物が主力となり計画出荷となる。長崎は10月が少雨だったため小玉傾向で出荷ピークとなる。</p> <p>入荷量は多かった前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
たまねぎ	23年	7,530	143	136	144	145	北海道 90%
	24年	8,925	95	96	93	96	静岡 4%
	25年	8,676	84	80	83	88	中国 4%
	26年	7,049	137	134	137	145	
	27年	9,360	100	92	98	111	
ね	5カ年平均	8,308	110	105	109	115	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	9,700	75	75	75	75	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道はばれいしょと同様に計画出荷中。生育良好だったことから大中心と大玉傾向の仕上がりで前年以上の出荷を見込む。</p> <p>入荷量は、多かった前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	23年	8,970	352	379	340	345	青森 18%
	24年	8,847	334	390	329	352	静岡 17%
	25年	8,392	353	405	315	313	愛知 17%
	26年	7,810	330	410	338	315	フィリピン 16%
	27年	8,192	370	418	345	356	熊本 6%
	5カ年平均	8,442	348	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	7,700	370	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は青森、静岡、愛知。みかん、りんご、いちごなどが入荷。天候良好であるため、前進化傾向となっており、数は少なめ。みかんは大玉傾向であるが、いちごは小粒傾向であり、品種によって大きさは異なる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並の見込み。</p>					
み か ん	23年	2,333	304	280	305	320	静岡 58%
	24年	2,777	224	239	222	217	愛知 30%
	25年	2,555	205	226	193	199	和歌山 9%
	26年	2,557	212	227	206	207	三重 1%
	27年	2,493	230	265	229	203	長崎 1%
	5カ年平均	2,543	234	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,300	240	240	240	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、静岡、愛知。他、和歌山から。前倒し傾向で数は若干少なめ。生育は良いため、サイズはL、2L等の大きめが中心になる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
い ち ご	23年	794	1,225	1,343	1,187	1,173	愛知 50%
	24年	732	1,338	1,430	1,217	1,369	熊本 27%
	25年	869	1,175	1,427	1,062	1,069	鹿児島 7%
	26年	654	1,386	1,579	1,257	1,323	三重 5%
	27年	705	1,358	1,468	1,253	1,367	佐賀 5%
	5カ年平均	751	1,288	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	710	1,320	1,320	1,200	1,350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、愛知、熊本。他、鹿児島、三重、佐賀から。12月の天候次第ではあるが、例年より日照量が多いため、順調な生育が期待される。粒は小粒傾向の予想。入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	23年	36,153	394	436	370	386	静岡 19%
	24年	38,790	355	416	334	337	青森 15%
	25年	34,699	369	454	350	338	愛媛 15%
	26年	36,814	365	436	344	342	和歌山 8%
	27年	37,826	405	457	385	389	
	5カ年平均	36,856	370	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
計	28年見通し	38,000	420	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。また、いよかん、ぼんかん等の柑橘類の入荷も増える。柑橘類は11月の降雨・気温高により作柄不良が懸念される。りんご類は青森中心で食味は良好、数量は前年より増加する。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
みかん	23年	12,837	310	285	306	328	静岡 42%
	24年	17,070	234	241	233	229	長崎 15%
	25年	13,686	221	244	216	212	愛媛 13%
	26年	16,432	211	224	201	211	和歌山 13%
	27年	16,163	249	257	247	244	
	5カ年平均	15,238	243	249	238	242	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
計	28年見通し	15,500	260	265	260	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡中心に長崎、愛媛、和歌山等から入荷する。各産地とも気温高と降雨により果皮の体質は弱い。静岡は小玉傾向でLサイズ、Mサイズが中心となり数量は前年より少ない。長崎も数量減が見込まれるが1月は平年並の出荷がある見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
いちご	23年	4,017	1,157	1,206	1,130	1,141	栃木 39%
	24年	3,305	1,282	1,341	1,166	1,335	福岡 21%
	25年	4,163	1,192	1,345	1,125	1,111	茨城 11%
	26年	3,502	1,343	1,508	1,258	1,262	佐賀 10%
	27年	3,824	1,385	1,481	1,279	1,388	愛知 2%
	5カ年平均	3,762	1,268	1,373	1,189	1,241	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
計	28年見通し	3,800	1,380	1,480	1,300	1,300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に、福岡、茨城、佐賀等から入荷する。各産地とも生育は前進しており小玉傾向であるが、冷え込みも厳しくなく、今後とも潤沢な入荷が見込まれる。栃木は日照不足により軟弱徒長気味で灰色かび病の発生多く、出荷量は前年をやや下回る見込み。 入荷量、価格ともに、前年並の見込み。</p>					

切花・鉢花の1月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 12月28日現在）

単位：千本、円/本

グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	23年	1,706	56	
		24年	1,857	47	
		25年	1,587	59	
		26年	1,790	47	
		27年	1,582	59	
	5ヶ年平均	1,704	53		
く	28年見通し	1,650	53		
概要	愛知、三重、沖縄等から入荷。暖冬の影響で昨年から進んだ出荷となっているため、温度の低下によっては出荷の谷間ができる可能性がある。出荷量にもよるが、暖かい日が続くと動きが低調で、やや重い展開も。				
小 ぎ	実績	23年	749	37	
		24年	987	25	
		25年	949	32	
		26年	973	21	
		27年	800	28	
	5ヶ年平均	892	28		
く	28年見通し	950	30		
概要	沖縄中心に入荷。例年年明けの出荷は落ち着いたものとなるが、暖かい日が続く、動きも重い。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	23年	963	35	
		24年	953	37	
		25年	914	38	
		26年	960	35	
		27年	820	46	
	5ヶ年平均	922	38		
く	28年見通し	850	40		
概要	愛知を中心に和歌山、長野から入荷。今年は10、11、12月と平均気温が高かったため、生育が順調で12月商戦はまとまった数が出て、安定供給となった。今後の気温によるが、1月は若干数が減少することが見込まれる。				
か す み 草	実績	23年	154	83	
		24年	132	85	
		25年	148	80	
		26年	143	75	
		27年	174	79	
	5ヶ年平均	150	80		
く	28年見通し	170	75		
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。入荷量は昨年並みぐらい。前半は少なく、後半はより増加。価格は業務中心の販売で厳しい販売となろう。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	23年	278	188	
		24年	271	196	
		25年	274	163	
		26年	266	204	
		27年	249	194	
	5ヶ年平均	268	189		
28年見通し	240	200			
概要	高知、愛知、埼玉、九州から入荷。OHは例年1月出荷は多くないが、更に少ない出荷で特にピンク系が少ない。後半からは増加するだろう。鉄砲、LAも同様な動き。価格は例年より強い相場となると思われる。				
洋らん	実績	23年	452	71	
		24年	486	73	
		25年	424	75	
		26年	470	85	
		27年	459	82	
	5ヶ年平均	458	77		
28年見通し	460	80			
概要	高知、徳島、愛知、静岡、輸入物が入荷。暖冬傾向で一般的にラン類は前進傾向で、品目によっては1月は減少気味になる事が予想される。				
ばら	実績	23年	665	75	
		24年	636	76	
		25年	677	74	
		26年	654	78	
		27年	548	83	
	5ヶ年平均	636	77		
28年見通し	600	80			
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。入荷量は前年並で、成人式等の需要もあり、堅調な動きとなる見込み。				
枝も	実績	23年	1,501	42	
		24年	1,411	42	
		25年	1,414	41	
		26年	1,433	45	
		27年	1,257	47	
	5ヶ年平均	1,403	43		
28年見通し	1,350	45			
概要	促成物の桜中心にコデマリ、ボケと成人式を彩る物が入荷する。稽古物の花材は需要も悪く、物日以降は単価は落ちつき、低調と思われる。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 力	実績	23年	31,377	213	
		24年	32,586	201	
		25年	24,267	192	
		26年	24,439	218	
		27年	20,863	191	
	5ヶ年平均		26,706	204	
	28年見通し		20,000	195	
概要	<p>入荷量は昨年並か。年明け開花の白花品種を中心にポット物が中心になる。単価は年始がらみで10月前後まで高値で推移し、月末にむけて厳しさを増す見込み。昨年1月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位山梨県（31.3%）、2位新潟県（24.3%）、3位長野県（21.1%）となっている。</p>				
プ ム	実績	23年	446,659	115	
		24年	429,103	113	
		25年	568,297	99	
		26年	547,825	96	
		27年	492,187	92	
	5ヶ年平均		496,814	102	
	28年見通し		490,000	92	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。品種物は作付、生育共に良好、バラザキ、一重は若干の減少の見込み。ポリアンは少し遅れているが入荷は昨年並か。昨年1月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知県（45.0%）、2位三重県（12.4%）、3位埼玉県（11.5%）となっている。</p>				
チ ュ	実績	23年	79,148	185	
		24年	78,074	189	
		25年	64,454	194	
		26年	70,026	180	
		27年	56,809	197	
	5ヶ年平均		69,702	189	
	28年見通し		56,000	196	
概要	<p>入荷量は昨年よりやや減少か。愛知県産は大きく変わりが無いが、埼玉県産が減少の見込み。特に6号以上の大きいサイズは少なく、4号・5号鉢が中心になると思われる。昨年1月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知県（46.0%）、2位埼玉県（21.7%）、3位長野県（8.7%）となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	23年	57,264	267	
		24年	44,843	295	
		25年	49,580	301	
		26年	56,662	288	
		27年	55,383	291	
	5ヶ年平均	52,746	288		
	28年見通し	55,000	291		
概要	<p>入荷量は昨年並か。5～6号中心ではあるが、4号もある見込み。 (5号：単価220円から350円、6号：単価350円から600円、4号：単価220円から150円の予想) 昨年1月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位埼玉県(25.1%)、2位愛知県(16.1%)、3位富山県(8.5%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	23年	39,445	179	
		24年	45,641	193	
		25年	48,306	187	
		26年	46,545	201	
		27年	47,804	197	
	5ヶ年平均	45,548	192		
	28年見通し	47,500	198		
概要	<p>入荷量は昨年並か。ただし、中旬より増加になる見込み。単価的に売り手、買い手の思いが合えば、取引が活発になるかと思われる。 昨年1月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位岐阜県(26.2%)、2位愛知県(25.5%)、3位静岡県(16.1%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	23年	23,830	711	
		24年	20,218	775	
		25年	35,479	513	
		26年	22,422	782	
		27年	19,497	787	
	5ヶ年平均	24,289	689		
	28年見通し	19,000	789		
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。12月下旬に狙っていた物が若干遅れているのと、成人式に向けて作付けが多そうなので増える見込み。昨年同様ツボミ多めでの出荷をお願いしたい。 昨年1月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(58.8%)、2位岡山県(12.9%)、3位静岡県(8.9%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2015年)

1 輸入実績

品名	10月						10月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	59,892	98.2	9,164,689	101.5	153	103.5	665,917	102	82,178,590	118	123	116
トマト	830	91.1	357,764	81.5	431	89.5	5,743	105	2,265,850	106	395	101
たまねぎ	23,453	88.7	1,408,341	104.9	60	118.2	265,948	97	14,394,752	107	54	110
にんにく	1,652	93.6	410,467	129.7	249	138.6	17,311	124	3,910,253	167	226	135
ねぎ	5,504	109.2	694,724	124.6	126	114.1	48,119	115	6,126,225	139	127	121
ブロッコリー	1,158	49.5	350,573	1239.6	303	2504.6	16,798	65	4,498,141	84	268	130
結球キャベツ	7,386	227.8	266,164	263.3	36	115.6	27,440	92	1,187,661	99	43	108
にんじん・かぶ	4,738	66.9	362,781	134.5	77	201.0	60,689	106	3,636,246	127	60	121
ごぼう	4,555	95.7	223,387	95.9	49	100.2	34,776	100	1,988,226	75	57	74
えんどう	18	59.1	13,639	97.7	744	165.3	640	117	279,204	149	436	127
アスパラガス	1,584	120.4	932,735	106.3	589	88.3	7,164	85	5,270,334	107	736	127
まつたけ	267	92.6	1,586,781	81.6	5,949	88.1	808	128	4,616,211	155	5,710	121
しいたけ	204	84.6	78,559	88.0	385	104.0	1,734	100	678,001	102	391	102
かぼちゃ	2,461	123.8	202,896	132.6	82	107.1	89,666	110	8,267,704	126	92	114
果実(生鮮・乾燥)	133,000	101.2	26,071,977	114.1	196	112.8	1,438,634	109	283,341,624	129	197	118
バナナ	87,387	103.1	9,807,764	125.2	112	121.5	812,954	113	87,139,355	133	107	118
パイナップル	12,543	99.0	1,160,719	121.8	93	123.0	127,657	100	10,986,238	117	86	117
レモン	1,942	50.9	370,603	57.6	191	113.4	42,352	110	9,528,076	136	225	123
オレンジ	6,463	139.7	834,974	150.5	129	107.8	79,169	108	11,990,938	115	151	106
グレープフルーツ	294	67.7	33,828	91.0	115	134.4	86,352	91	10,316,422	105	119	115
メロン	1,236	72.0	159,434	75.5	129	104.9	21,497	88	2,482,885	93	115	106
ぶどう	3,584	247.7	1,341,626	263.1	374	106.2	44,395	193	14,752,269	239	332	124
キウイ	4,121	109.0	1,323,193	118.0	321	108.3	74,517	129	25,885,362	129	347	100
いちご	609	83.9	716,567	91.8	1,176	109.5	2,709	123	3,118,013	142	1,151	116
切花(生鮮・乾燥)	3,101	98.5	2,978,900	113.4	960	115.1	33,874	106	32,058,592	116	946	109
鳥獣肉類	184,837	89.3	93,292,487	83.2	505	93.2	1,614,059	111	861,627,629	118	534	106
牛肉(くず肉含む)	41,696	85.3	27,381,679	83.6	657	98.0	413,505	105	284,158,081	131	687	124
豚肉(くず肉含む)	75,882	75.9	40,225,930	73.2	530	96.4	657,241	105	354,283,968	103	539	98
鶏肉	57,220	120.4	16,265,565	109.9	284	91.3	448,825	129	135,556,278	136	302	105
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	157,231	109.1	111,001,803	102.5	706	93.9	1,386,332	115	954,518,793	118	689	103
まぐろ類	18,778	87.3	13,397,396	818.7	713	937.9	170,775	111	162,571,310	116	952	105
さば・さんま・あじ・いわし	3,649	97.2	813,856	94.1	223	96.9	59,204	118	13,357,499	114	226	97

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	6,975	91.9	2,481,099	109.5	356	119.1	26,545	223	12,494,738	206	471	93
うんしゅうみかん	1,186	65.6	169,941	64.8	143	98.7	1,490	514	360,685	187	242	36
りんご	5,184	116.9	1,831,425	129.0	353	110.3	20,598	238	7,773,367	237	377	100
なし	75	59.1	38,063	57.7	507	97.7	1,261	159	655,284	156	519	98
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	684,437	157.1	-	-	-	-	3,782,441	151	-	-
緑茶	421	118.3	1,037,543	131.9	2,463	111.4	3,265	136	8,120,572	148	2,487	109

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

関 連 指 数

年 月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100) (愛知県 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年平均	102.8	99.3	105.8	106.8	112.3
	27年 7月	103.7	107.4	108.2	112.1	115.1
	8月	103.9	110.0	114.8	112.1	118.6
	9月	103.9	119.9	108.2	112.8	118.3
	10月	103.9	117.1	100.9	112.9	117.3
愛 知 県	25年平均	100.3	100.3	105.6	99.9	105.6
	26年平均	103.1	100.8	112.1	108.9	110.8
	27年 7月	103.6	112.6	111.4	114.3	113.1
	8月	103.9	115.8	119.4	114.8	119.4
	9月	103.8	124.3	109.9	114.9	116.8
	10月	103.7	120.4	104.4	117.0	115.3

年 月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
25年平均	25年平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	26年平均	102.2	98.8	97.8	93.3	118.4
	27年 7月	106.8	83.1	102.9	117.2	129.8
	8月	105.3	83.6	101.6	110.8	129.0
	9月	108.4	89.2	119.3	86.5	128.7
	10月	104.8	93.3	108.4	75.2	128.1

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)														
年 月	品目 単位	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
		5 kg	1 kg									100g	1kg	
25年平均		2,112	147	178	629	457	297	160	388	231	569	695	162	567
26年平均		2,109	170	190	661	481	321	162	376	276	581	695	162	545
27年 7月		1,864	172	239	857	410	493	200	393	328	578	655	173	792
8月		1,855	181	259	811	559	438	205	439	344	565	614	185	-
9月		1,859	221	293	751	773	359	209	419	276	715	763	196	-
10月		1,879	267	223	715	841	309	196	401	257	590	830	182	-
年 月	品目 単位	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(バラ)	牛肉(ロース)	まぐろ
		1 kg			100g	1 kg		100g	1 本		100g			
25年平均		581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	428
26年平均		584	336	437	174	240	824	530	166	175	336	228	825	440
27年 7月		-	344	474	-	279	838	527	180	165	334	223	907	449
8月		-	321	471	-	293	917	532	185	199	336	231	951	436
9月		803	307	539	-	267	920	515	171	175	348	237	930	467
10月		591	304	475	-	266	880	521	176	173	350	243	921	460

豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (**イート モア アイチ** プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 511
平成28年1月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421